

6. あ と が き

現在、鉄塔施設として測器およびアナログ処理によるデータ前処理装置の設置はほぼ完成し、今後は汎用小型電子計算機によるデータ処理の迅速化をはかるだけとなった。

風速や気温に関する乱流統計量の算定は比較的容易に行なえるようになったが、湿度変動に関しては測器の response および測定器の保守（熱電対乾湿計）の点で問題のあることがわかった。さらに 213 m の風向によって 3 方向の 1 つを選んで測定を行なう方式を採用したが、風速の強い場合は比較的問題はないが、大気の成層状態が安定で、風速の比較的弱い場合には風向のシャ－が見られ、必ずしも下層の風向が 213 m の風向と一致しない場合が多く、定常観測をする場合の問題点として残った。

また、多くの測定器を切換えて使用しているので、器差や noise の問題に対しても、非常に注意を払う必要のあることが認められた。

謝 辞

この気象観測鉄塔の建設に非常な努力をされた、元応用気象研究部長 竹内清秀氏、前気象衛星研究部長 小平信彦氏、同室長 根本茂氏に感謝します。また多くの助言と励ましをいただいた気象研究所鉄塔運用委員会委員長 内藤恵吉氏をはじめ他の委員の皆様へ感謝します。

参 考 文 献

- Gill, G. C., et al., 1967 : Accuracy of wind measurement on towers or stacks.
Bull. Amer. Met. Soc., 48, 665 - 674
- Hanafusa, T., 1970 : A simple method for measurement of water vapor flux,
Jour. Met. Soc. Japan, 48, 259-262
- Hanafusa, T., 1971 : New hybrid analog data acquisition system for atmospheric
turbulence (HYSAT)
Contr. Geophys. Inst. Kyoto Univ., No. 11, 47 - 56.
- Hanafusa, T. et al., 1979: Single head sonic anemometer-thermometer
(to be published)
- Pasquill, F., 1974 : Atmospheric diffusion 2nd ed. Ellis Horwood, pp423.
- Suntola, T., 1973 : A thin film humidity sensor, CIMO VI Scientific
Discussions.

気 象 研 究 所

1946年(昭和21年)設立

所 長 : 理 博 小 林 寿 太 郎

予 報 研 究 部	部 長 : 理 博 内 田 英 治
台 風 研 究 部	部 長 : 藤 原 滋 水
物 理 気 象 研 究 部	部 長 : 久 保 次 郎
応 用 気 象 研 究 部	部 長 : 理 博 菊 池 幸 雄
気 象 衛 星 研 究 部	部 長 : 工 博 内 藤 恵 吉
地 震 火 山 研 究 部	部 長 : 理 博 田 望
海 洋 研 究 部	部 長 : 理 博 南 日 俊 夫
高 層 物 理 研 究 部	部 長 : 理 博 三 崎 方 郎
地 球 化 学 研 究 部	部 長 : 理 博 猿 橋 勝 子

気 象 研 究 所 技 術 報 告

編 集 委 員 長 : 内 田 英 治

編 集 委 員 : 時 岡 達 志 古 川 武 彦 大 塚 伸
安 田 延 寿 高 島 勉 勝 又 護
磯 崎 一 郎 村 井 潔 三 杉 村 行 勇

事 務 局 : 小 島 芳 夫 松 下 眞

気象研究所技術報告は気象学, 海洋学, 地震学, その他関連の地球科学の分野において, 気象研究所職員が得た研究成果に関し, 技術報告, 資料報告及び総合報告を掲載する。

気象研究所技術報告は, 1978年(昭和53年)以降, 必要の都度, 刊行される。

昭和54年12月25日発行

編集兼発行所 気 象 研 究 所

東京都杉並区高円寺北4-35-8

印 刷 所 東 京 プ リ ン ト

東京都港区西新橋3-24-9